

Ⅲ. 機構・職員・予算

1. 機 構

A. 機構の概要

生産技術研究所は日常の業務遂行の面から、研究部と事務部とに大別される。

研究部は、運営の便宜上、5 部門に分かれ、部ごとに互選による2名の常務委員がいて部の日常の事務処理に当たる。常務委員のうち1名は、部主任として部を代表する。常務委員は、常務委員会を組織し、所長の諮問機関として毎月2回、会議を開催している。研究部は研究室から成り立っており、また、その部の専門を適当に分類した専門分野表は1ページ「沿革」の項に掲げた通りである。

中間試験部は、基礎部の基礎研究として完成したもので、これを工業化へ移すための中間規模の試験研究を行なうところで、毎年度各部から2名ずつ選出する委員の組織する特別研究審議委員会で研究課題を審議決定し、特別の予算をつぎこんで実施している。また受託研究の一部には中間試験研究になるものがある。

試作工場および図書室は、それぞれ各部から選出する教授・助教授が委員となって組織する委員会によって運営される。それらの詳細は、前記試作工場、図書書の項を参照されたい。

当研究所の重要事項は教授総会で議決する。教授総会は教授・助教授によって組織され毎月1回定期に開催している。

協力機関には、航研・生研連絡会議がある。

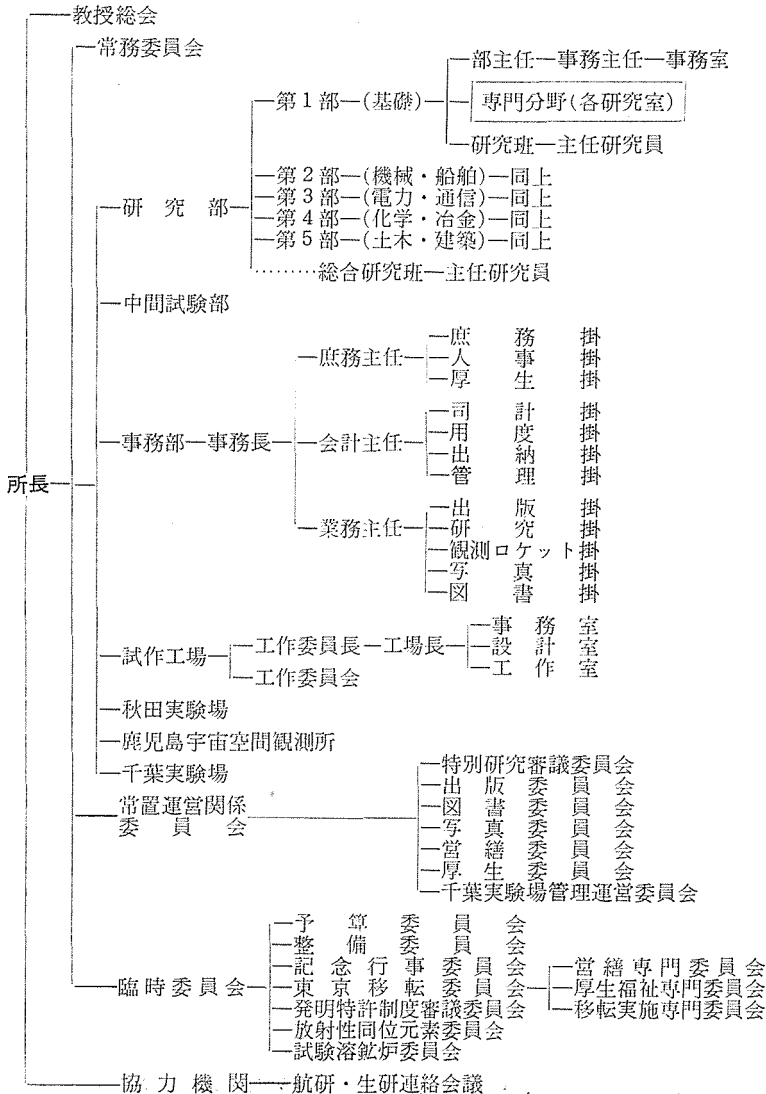
その外に、所員が、それぞれの専門の立場から、事務運営を指導し、助言する機関として、各運営委員会がある。その種類は次ページの(B)機構図にある通りで、内容は巻末の委員会諸規程を参照されたい。

大 学 院

本所で現在教育を受けている大学院学生は新制46名である。新制大学院は昭和28年4月から開始され、当所の関係する大学院のコースは、数物系研究科中の、土木・建築・機械・精密・船舶・電気・応用物理・航空および化学系研究科中の応用化学・冶金である。

外に会社・官公庁、その他一般からの申出により、一定期間、ある事項について研究を指導する研究生の制度がある。その規定は巻末144ページにある。

B. 機 構 図



2. 職 員

A. 現 員 表

a. 職種別職員数

区分	教 授	助教授	助 手	技 官	事務官	技術員	事務員	技能員	用務員	合 計
職員数	37 *11	36	61	76	51	36	21	33	27	378 *11

* 印併任

b. 諸系統別職員数

区分	研 究 系 統						事 務 系 統			技 術 系 統			技 能 労 務 系 統			そ の 他		合 計			
職 種 別	教 授	助 教 授	研 究 担 当	研 究 員	技 官	助 手	計	事 務 官	事 務 員	計	技 官	技 術 員	計	技 官	技 術 員	用 務 員	計		常 勤 労 務 者	日 雇 者 (甲)	計
職員数	37 *11	36	8	65	40	61	247	51	21	72	31	36	67	5	33	27	65		116		567 *11

* 印併任

B. 職 員 名 簿

第 1 部

* 新制による学位

官 職	氏 名	卒 業 学 部 学 科	卒 業 年 月 日	学 位 取 得 年 月 日	学 位
教 授	岡本 舜三	東 大 工, 土木	昭 7. 3. 31	昭23. 2. 19	工
"	久保田 広	理, 物理	" 9. 3. 31	" 18. 2. 26	"
"	糸川 英夫	工, 航空	" 10. 3. 31	" 24. 1. 5	"
"	一色 貞文	" 冶金	" 11. 3. 31	" 24. 2. 14	"
"	玉木 章夫	理, 物理	" 14. 3. 31	" 26. 4. 11	"
併 任 教 授	末岡 清市	" "	" 16. 3. 31	" 26. 10. 17	理
"	山内 恭彦	" "	大15. 3. 31	" 13. 4. 19	"
"	平田 森三	" "	昭 3. 3. 31	" 16. 1. 14	"
"	熊谷 寛夫	" "	" 9. 3. 31	" 14. 7. 31	"
"	池田 健	工, 航空	" 6. 3. 31	" 18. 6. 15	工

助教授	大井光四郎	東大 理, 数学	昭14. 3. 31	昭37. 3. 31	工
"	富永 五郎	" 物理	" 17. 9. 30		
"	鳥飼 安生	" "	" 18. 9. 25	昭30. 4. 4	理
"	森 大吉郎	二工航機	" 19. 9. 25	" 36. 9. 5	工
"	山田 嘉昭	" 機械	" 20. 9. 25	" 37. 1. 22	"
"	渡辺 勝	理, 物理	" 16. 12. 25	" 34. 12. 9	理
"	小瀬 輝次	二工精密	" 22. 9. 30	" 36. 7. 27	工
"	秋葉鐮二郎	工, 応物	" 29. 3. 27	" 34. 10. 5	*工
技 官	北川 英夫	" 物理	" 21. 9. 30	" 37. 2. 3	工

第 2 部

教 授	竹中 規雄	東大 工, 機械	昭11. 3. 31	昭26. 5. 26	工
"	小川 正義	" 造兵	" 13. 3. 31	" 25. 10. 25	"
"	鈴木 弘	" 機械	" 15. 3. 31	" 26. 4. 11	"
"	橘 藤雄	" "	" 11. 3. 31	" 28. 1. 29	"
"	平尾 収	" "	" 14. 3. 31	" 29. 3. 17	"
"	亙理 厚	" 航空	" 16. 3. 31	" 27. 4. 4	"
"	水町 長生	" 機械	" 15. 3. 31	" 33. 8. 6	"
"	田宮 真	" 船舶	" 16. 12. 25	" 33. 5. 2	"
"	松永 正久	" 造兵	" 16. 12. 25	" 32. 8. 1	"
併任 教授	千々岩健児	東大 工, 機械	" 19. 9. 25	" 32. 1. 13	"
助教授	大島康次郎	" "	" 17. 9. 25	" 32. 7. 8	"
"	植村 恒義	二工 "	" 19. 9. 25	" 37. 1. 22	"
"	安藤 良夫	" 船舶	" 20. 9. 25	" 35. 8. 13	"
"	石原 智男	" 機械	" 21. 9. 30	" 30. 5. 27	"
"	高橋 幸伯	" 船舶	" 21. 9. 30	" 36. 12. 22	"
"	柴田 碧	工, 機械	" 28. 3. 28	" 33. 3. 29	*工
"	森 政弘	名大 工, 電気	" 25. 3. 17	" 34. 4. 27	工
技 官	富成 襄	二工, 精密	" 26. 3. 28	" 37. 3. 5	"

第 3 部

教 授	藤高 周平	東工, 大電	昭 5. 3. 31	昭17. 12. 24	工
”	高木 昇	” ”	” 6. 3. 31	” 17. 5. 15	”
”	森脇 義雄	” ”	” 8. 3. 31	” 22. 6. 23	”
”	沢井善三郎	” ”	” 10. 3. 31	” 25. 5. 31	”
”	斎藤 成文	” ”	” 16. 12. 25	” 26. 8. 20	”
”	野村 民也	二工 ”	” 20. 9. 25	” 34. 11. 20	”
併任教授	後藤 以紀	工 ”	” 2. 3. 31	” 9. 4. 5	”
助教授	安達 芳夫	二工 ”	” 19. 9. 25		
”	尾上 守夫	” ”	” 22. 9. 30	” 30. 6. 30	”
”	黒川 兼行	” ”	” 26. 3. 28	” 33. 5. 14	”
”	浜崎 襄二	工 ”	” 28. 3. 28	” 33. 9. 15*	工
”	河村 達雄	” ”	” 29. 3. 28	” 34. 3. 30	”
技 官	後川 昭雄	” ”	” 27. 3. 28	” 37. 1. 22	工

第 4 部

教 授	高橋 武雄	東工, 大化	大15. 3. 31	” 16. 3. 24	工
”	福田 義民	” ”	昭 3. 3. 31	” 20. 11. 7	”
”	永井 芳男	” ”	” 5. 3. 31	” 21. 11. 7	”
”	菊池 真一	” ”	” 8. 3. 29	” 23. 6. 3	”
”	江上 一郎	” 冶金	” 10. 3. 31	” 24. 2. 14	”
”	山本 寛	” 化	” 13. 3. 31	” 27. 4. 4	”
”	浅原 照三	” ”	” 14. 3. 31	” 28. 8. 19	”
”	加藤 正夫	” 冶金	” 15. 3. 31	” 27. 7. 7	”
”	野崎 弘	” 化	” 14. 3. 31	” 32. 11. 15	”
”	雀部 高雄	” 冶金	” 11. 3. 31		
併任教授	祖父江 寛	” 化	” 4. 3. 31	” 16. 8. 4	理
”	松下 幸雄	” 冶金	” 17. 9. 25	” 32. 3. 22	工
助教授	山辺 武郎	” 化	” 15. 3. 31	” 31. 12. 20	”

助教授	中村 亦夫	東工, 大 心化	昭16. 12. 25		
"	武藤 義一	" "	" 16. 12. 25	昭37. 3. 5	工
"	今岡 稔	" "	" 16. 12. 25	" 36. 6. 30	"
"	西川 精一	二工冶金	" 19. 9. 25	" 36. 7. 31	"
"	原 善四郎	" "	" 19. 9. 25		
"	後藤 信行	" 心化	" 19. 9. 25	" 36. 10. 26	"
"	河添邦太郎	" "	" 19. 9. 25		
"	館 充	" 冶金	" 20. 9. 25	" 36. 11. 1	"
技 官	早野 茂夫	" 心化	" 23. 3. 31		

第 5 部

教 授	波辺 要	東工, 大 建築	大14. 4. 17	昭17. 1. 20	工
"	福田 武雄	" 土木	" 14. 3. 31	" 7. 12. 16	"
"	星野 昌一	" 建築	昭 6. 3. 31	" 20. 9. 24	"
"	坪井 善勝	" "	" 7. 3. 31	" 16. 11. 29	"
"	星埜 和	" 土木	" 9. 3. 31	" 22. 8. 21	"
"	丸安 隆和	" "	" 14. 3. 31	" 26. 11. 26	"
"	勝田 高司	" 建築	" 15. 3. 31	" 27. 1. 25	"
併任教授	関野 克	" "	" 8. 3. 31	" 20. 9. 24	"
"	高山 英華	" "	" 9. 3. 30	" 24. 7. 30	"
助教授	井口 昌平	" 土木	" 16. 12. 25		
"	池辺 陽	" 建築	" 17. 9. 25		
"	三木五三郎	二工土木	" 19. 9. 25		
"	久保慶三郎	" "	" 20. 9. 25	" 37. 2. 20	工
"	田中 尚	" 建築	" 21. 9. 30	" 31. 12. 20	"
"	石井 聖光	" "	" 22. 9. 30	" 35. 4. 9	"
"	村松貞次郎	" "	" 23. 3. 31	" 36. 9. 5	"
技 官	小林 一輔	工, 土木	" 29. 3. 31		

事務部

事務長	白方 之次	日大法大	昭 6. 3. 31
工場長 (併任)	鈴木 正吾 (第2部技官)	東工機	" 14. 3. 31

年間異動

官職	氏名	発令月日	備考
教授	岡 宗次郎	36. 3. 31	定年退職
"	野崎 弘	36. 4. 1	教授に昇任
"	勝田 高司	"	"
助教授	秋葉鎌二郎	"	助教授に昇任
教授	金森 九郎	36. 4. 30	辞職
"	雀部 高雄	36. 5. 1	教授に採用
元 "	岡 宗次郎	36. 5. 16	東京大学名誉教授の称号を授与
教授	関野 克	36. 6. 16	文部技官、文部省文化財保護委員会事務局建造物課長に 出向
"	"	"	文部教官(東京大学教授、生産技術研究所)に併任する
技官	橋爪 伸	36. 7. 5	辞職
助教授	館 充	36. 8. 1	助教授に昇任
"	石井 聖光	"	"
"	村松貞次郎	"	"
技官	富成 襄	36. 9. 16	技官に昇任
"	早野 茂夫	36. 10. 1	技官に昇任
助教授	尾上 守夫	36. 10. 3	海外研修により休職
"	浜崎 襄二	36. 10. 25	"
"	黒川 兼行	36. 11. 29	復職
教授	野村 民也	37. 1. 1	教授に昇任
助教授	河村 達雄	"	助教授に配置換
技官	後川 昭雄	37. 3. 16	技官に昇任

C. 旧職員

名誉教授 故井口 常雄, 瀬藤 象二, 故友田 宜孝, 谷 安正,
 星合 正治, 岡 宗次郎
 元教授
 故森田 三郎, 故茂木 武雄, 故吉川 晴十, 菱川万三郎, 吉原 英夫,
 松本 良一, 釘宮 磐, 岩崎 富久, 故竹中 二郎, 清水 菊平,
 浅岡 勝彦, 石川 政吉, 山県 昌夫, 福田 節雄, 南波松太郎,
 故増野 実, 谷 一郎, 河村 正弥, 沼田 政矩, 故小野 薫,
 高橋 安人, 宮津 純, 兼重寛九郎, 金森 九郎,

元 助 教 授

故 原 正人, 吉村 慶丸, 堀 武男, 渡辺 慧, 佐藤 正彦,
故 内田 祥文, 渡辺 正雄, 高木 豊, 沢田 正二, 高月 竜男,
豊田 利幸, 故 青木 洋, 故 高尾 一郎, 田中 一彦, 元良 誠三,
中西 邦雄, 故 桑井 源禎, 小川 岩雄, 江口 雅彦, 石井 義郎,
久松 敬弘, 仁木 栄次, 浜口 隆一, 丹羽 登.

元 技 官

佐藤 敬夫, 中村 康治, 藤森 栄二, 橋爪 伸.

元 事 務 長

鈴木 孝弥

3. 決算と予算

A. 昭和 35 年度歳出決算額

	金 額	百分率%	
総 額	486,957,686	100.00	
人 件 費	163,091,216	33.49	%
物 件 費	323,866,470	66.51	100.00
各研究部研究費	41,808,300	8.59	12.9
特別研究費	17,793,800	3.65	5.48
受託研究費	6,000,000	1.23	1.85
受託研究員費	470,000	0.10	0.15
私学教職員研修費	36,000	0.01	0.01
大学院学生経費	682,000	0.14	0.21
溶鉱炉運転費	4,596,000	0.94	1.42
設 備 費	26,500,000	5.44	8.17
図 書 購 入 費	2,346,415	0.48	0.72
出 版 費	3,353,502	0.69	1.09
試作工場経費	1,500,000	0.31	0.46
職員厚生経費	219,000	0.04	0.07
ロケット・ ロクーン経費	165,961,000	34.08	51.24
その他の維持費	52,600,453	10.81	16.23

B. 昭和 36 年度歳出予算額

	金 額	百分率%	
総予算額	642,390,197	100.00	
人 件 費	192,457,997	29.96	%

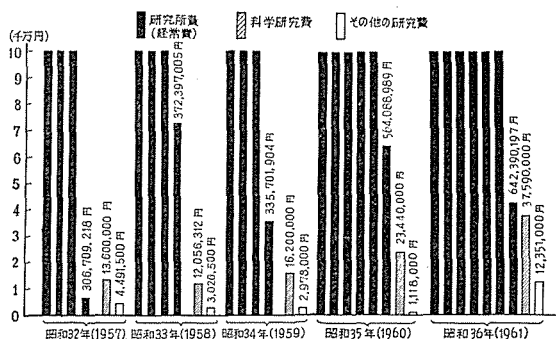
物件費	449,932,200	70.04	100.00
各研究部研究費	52,074,300	8.11	11.57
特別研究費	19,986,500	3.11	4.44
受託研究費	6,100,000	0.95	1.36
受託研究員費	470,000	0.07	0.10
大学院学生経費	777,600	0.12	0.17
溶鉱炉運転費	5,107,000	0.80	1.13
設備費	14,000,000	2.18	3.11
図書購入費	2,050,000	0.32	0.46
出版費	3,500,000	0.54	0.78
試作工場経費	3,700,000	0.58	0.82
ロケット・ロケットン経費	251,009,000	39.07	55.80
職員厚生経費	219,600	0.03	0.05
その他の維持費	90,938,200	14.16	20.21

C. 文部省科学研究費関係 (昭和 36 年度)

総額	37,590,000円
各研究	2,300,000
機関研究	21,450,000
試験研究	7,000,000
総合研究	6,840,000

D. その他の研究費 (昭和 36 年度)

委員会および諸団体より	12,351,000円
総計(B+C+D)	692,331,197円



最近5カ年間の諸経費増減比較表